NEC

3D対応モデルを
ご購入いただいたお客様へ

3D対応モデルをご購入いただいたかたは、必ずこの冊子をご覧ください

本冊子では、3D対応モデルで3Dコンテンツを楽しむための方法や、注意事項について説明しています。
3D機能をお使いになる前に必ず本冊子をご覧になり、記載されている注意事項を守ってコンテンツをお楽しみください。


811064045A

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ワイヤレスTV デジタル添付モデル	地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を、ワイヤレスLANを使ってパソコンに送信する機能を搭載した「ワイヤレスTVデジタル」が添付されたモデルのことです。
デジタルハイビジョンTV (地デジ/BS/110度CS) モデル	地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
DigiCame3D Viewer LE	I-O DATA DigiCame3D Viewer LE
DigitalVideo3D Player LE	I-O DATA DigitalVideo3D Player LE

3Dコンテンツを楽しむ

このパソコンでは3Dコンテンツを楽しむことができます。ここでは、3D表示のしくみやこのパソコンで3Dコンテンツを視聴する方法、視聴する際に注意していただきたいことなどについて説明します。

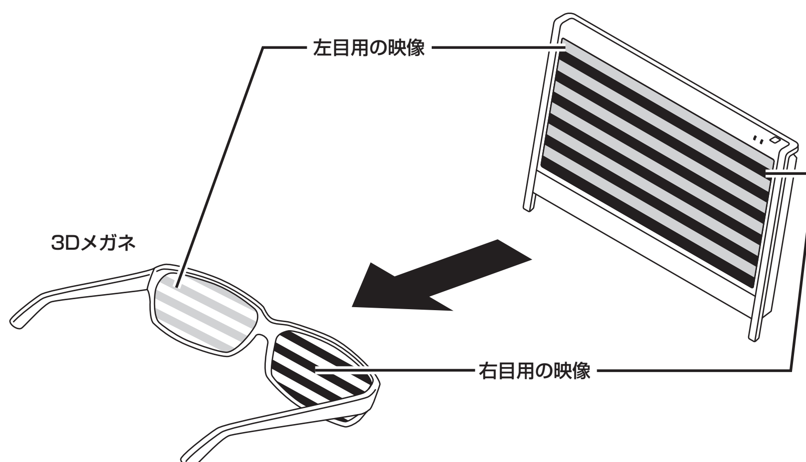
チェック!! 3Dコンテンツは、画面を正面にして両目を水平に保ち、VALUESTAR Wの場合は約65cm、VALUESTAR Nの場合は約60cm離れて視聴していただくと目の負担を軽くすることができます。

3D表示のしくみ

私たちは、物体を見る際に右目から見える物体の像と左目から見える物体の像を1つの像としてとらえます。目の位置は左右で異なるため、右目から脳に送られる像と左目から脳に送られる像には差(両眼視差)が生まれます。脳内で左右の目から送られる像を1つにする際に、両眼視差を手がかりにして見ている物を立体だと感じています。

3D表示のしくみは、この両眼視差を利用しています。あらかじめ、映像を右目用と左目用に用意し、立体を感じることができる両眼視差に調節してディスプレイに表示します。次にディスプレイの映像を3Dメガネ(偏光板方式)※の働きで右目用の映像と左目用の映像に分け、それぞれの目に送ります。これにより、私たちは脳内で左右の目から送られる像を1つにする際に、映像に立体感や奥行きを感じることができます。

※以降、3Dメガネと呼びます。



イラストは、機種によって異なります。

3Dコンテンツを視聴するときのご注意

本製品で3Dコンテンツを視聴するときに注意していただきたいことについて説明しています。人体への傷害や財産の損害を防ぐため、各注意を守って3Dコンテンツを視聴してください。

チェック!!

- 映像やコンテンツによって、3Dの映像として見えにくい場合があります。また、3Dの映像やコンテンツの見えかたには個人差があるため、3Dの映像として見えにくい場合があります。
- 3Dの映像の視聴中に、映像が二重に見える場合や立体的に感じにくい場合は、いったん視聴を中止してください。その後、視聴位置やソフトウェアの設定を確認してください。
- 3Dの映像を視聴する際、デスクトップの解像度をご購入時の設定から変更している場合は、ご購入時の設定に戻して視聴してください。
- 3Dの映像の表示方式は複数あるため、ご購入時にインストールされているソフトウェア以外の3Dコンテンツや、ブルーレイディスクをご利用・ご購入の際には、どの表示方式に対応しているのかを視聴する前にご確認ください。また、ご購入時にインストールされているソフトウェア以外の3Dコンテンツの動作については、各コンテンツメーカーへお問い合わせください。
- 3Dの映像を安全にご利用いただくための注意事項などの詳細は、「3DC安全ガイドライン」(http://www.3dc.gr.jp/jp/scmt_wg_rep/guide_index.html)をご覧ください。

表記の意味について

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

⃠	一般禁止 その行為を禁止します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

❗	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

⚠注意



●3Dの映像や3Dの画像を見るときは3Dメガネを必ずご使用ください。

体調不良、不快感などの原因になることがあります。



●光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。

病状悪化の原因になることがあります。



●本人あるいは家族にてんかんの病歴がある場合、医療機関にご相談の上、3D映像をお楽しみください。

症状の悪化や発作のおそれがあります。



●視聴中に、像が二重に見えたり、疲労感、不快感などの異常を感じたりした場合は、使用を中止してください。

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。適度な休憩をとってください。



●3D映画などをご覧になる場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとってください。

●3Dの映像や3Dの画像をご覧になる場合は、30 ～ 60分を目安に適度に休憩をとってください。

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。



●3Dメガネを使用しているときに誤って画面や人をたたかないでください。

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。



●転倒のおそれのある場所で3Dの映像を視聴しないでください。

吐き気、知覚･視覚の異常や方向感覚の喪失、眼精疲労、姿勢が不安定になるなどの症状を引き起こす可能性があります。



●3Dメガネは、寝転がったり身体を傾けたりせず、両目を水平に近い状態にして使用してください。

●近視や遠視のかた、左右の視力が異なるかたや乱視のかたは視力矯正メガネの装着などにより、視力を適正に矯正した上で3Dメガネを使用してください。

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。



●画面の正面方向に適正距離をおいた視距離で視聴してください。

適正距離

・ VALUESTAR W：約65cm

・ VALUESTAR N：約60cm

推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。

3Dメガネを使用するときのご注意

⚠注意



●**本製品に添付されている3Dメガネは、NECパーソナルプロダクツ(株)が指定するパソコンとの組み合わせで使用する3D専用メガネです。ほかの機種に使用しないでください。**

正しい方法で視聴できず、目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。



●**3Dメガネは、サングラスとして使用しないでください。**

紫外線を遮断しないため、目を傷めるおそれがあります。



●**3Dメガネでの視聴年齢については、5～6歳以上を目安にしてください。**

●**小さなお子様が3Dの映像を見るときは、保護者が十分配慮してください。**

視機能の発達に障害を与える原因となる事があります。小さなお子様が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する自覚症状がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者が視聴環境の調整や目の疲れがないか注意し、保護者の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。



●**3Dメガネに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください。**

そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。



●**3Dメガネをかけたまま移動しないでください。**

周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。



●**3Dメガネは、指定の用途以外には使用しないでください。**

●**3Dメガネを割れた状態で使用しないでください。**

けがや目の疲れの原因になることがあります。



●**3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。**

3D映像を実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。



●**肌に異常を感じたら3Dメガネの使用を中止してください。**

ごくまれに塗料や材質がアレルギーの原因になることがあります。



●**鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dメガネの使用を中止してください。**

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。

⚠注意



●**3Dメガネに物を落としたり、力を加えたり、踏んだりしないでください。**

破損してけがの原因になることがあります。



●**3Dメガネのヒンジ部に指をはさまないようにしてください。**

けがの原因になることがあります。特にお子様にご注意ください。



●**3Dメガネを装着時は、フレームの先端にご注意ください。**

目をついてけがの原因になることがあります。

「PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する

本製品では、「PowerDVD 3D」を使用して、ブルーレイディスクやDVD、3Dに対応したファイルを立体的な映像で楽しむことができます。ここでは、「PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する方法について説明します。

●3D再生に対応したブルーレイディスクを再生する

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。3D再生に対応したブルーレイディスクを再生する場合、本製品ではあらかじめ設定がおこなわれていますので、画面の「いいえ」をクリックし、手順2に進んでください。

2 ブルーレイディスクをDVD/CDドライブにセットする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 3Dコンテンツが自動的に再生されない場合は、「PowerDVD 3D」の表示画面の再生ボタンをクリックしてください。

3 添付の3Dメガネをかける

チェック!! コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「PowerDVD 3D」の3Dをクリックしてください。「3D ディスプレイの設定」が表示されたら、「BD 3D再生を有効にする」のをクリックして、にし、「OK」をクリックしてください。

●2DのDVDを3Dで再生する

本製品では2DのDVDを3Dに変換して再生することができます。再生するには、あらかじめ設定をおこなう必要があります。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。画面の「はい」をクリックし、手順3に進んでください。

2 3Dをクリックする

「3D ディスプレイの設定」が表示されます。

3 「動画ファイルおよびDVDに3Dを適用する」のをクリックして、にする

4 「TrueTheater 3Dを使う」のをクリックしてにし、「OK」をクリックする

これで設定は完了です。

5 DVDをDVD/CDドライブにセットする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 3Dコンテンツが自動的に再生されない場合は、「PowerDVD 3D」の表示画面の再生ボタンをクリックしてください。

6　添付の3Dメガネをかける

チェック!!
- コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「PowerDVD 3D」の3Dをクリックしてください。「3D ディスプレイの設定」が表示されたら、「動画ファイルおよびDVDに3Dを適用する」のをクリックして、にし、「OK」をクリックしてください。
- VALUESTAR Nで、「彩りの設定」の「詳細設定」をご購入時の設定から変更した場合、または「グラフィック／メディアコントロール・パネル」の「色調整」をご購入時の設定から変更した場合、2Dの映像再生時に比べて、色設定の効果が強く反映される場合があります。3Dの映像が見づらい場合は、設定をご購入時の設定に戻して再生してください。

●3Dに対応したファイルを再生する

本製品では3Dに対応した動画ファイルなどを再生し、3D映像を楽しむことができます。再生するには、あらかじめ設定をおこなう必要があります。

1　「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。画面の「はい」をクリックし、手順3に進んでください。

2　3Dをクリックする

「3D ディスプレイの設定」が表示されます。

3　「動画ファイルおよびDVDに3Dを適用する」のをクリックして、にする

4　「3Dメディアファイル再生を使用」がになっていることを確認して、「OK」をクリックする

これで設定は完了です。

5　をクリックする

6　「メディアファイルを開く」をクリックする

「プレイリストの編集」が表示されます。

7　画面左の「ブラウザ」から、ファイルが保存されているフォルダをクリックして選択する

画面右上の「パス」にファイルが表示されます。

8　再生したいファイルをクリックして選択し、「追加」をクリックする

画面右下の「プレイリスト」にファイルが登録されます。

9　「OK」をクリックする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 「ハイデフィニションコンテンツ」が表示された場合は、「はい、機能を一時停止します。」を選択し、「OK」をクリックしてください。

10　添付の3Dメガネをかける

チェック!!
・コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「PowerDVD 3D」の3Dをクリックしてください。「3D ディスプレイの設定」が表示されたら、「動画ファイルおよびDVDに3Dを適用する」のをクリックして、にし、「OK」をクリックしてください。
・映像が画面の上下や左右に分割されるなど、うまく再生できない場合は「3D ディスプレイの設定」の「3D 動画レイアウト」の設定を変更してみてください。
・VALUESTAR Nで、「彩りの設定」の「詳細設定」をご購入時の設定から変更した場合、または「グラフィック／メディアコントロール・パネル」の「色調整」をご購入時の設定から変更した場合、2Dの映像再生時に比べて、色設定の効果が強く反映される場合があります。3Dの映像が見づらい場合は、設定をご購入時の設定に戻して再生してください。

「SmartVision」で3D放送の番組を視聴する

デジタルハイビジョンTV(地デジ/BS/110度CS)モデルおよびワイヤレスTVデジタル添付モデルでは、テレビの3D放送(3D立体放送)の番組を立体的な映像で楽しむことができます。ここでは「SmartVision」で3D放送番組を3Dの映像として表示する方法について説明します。

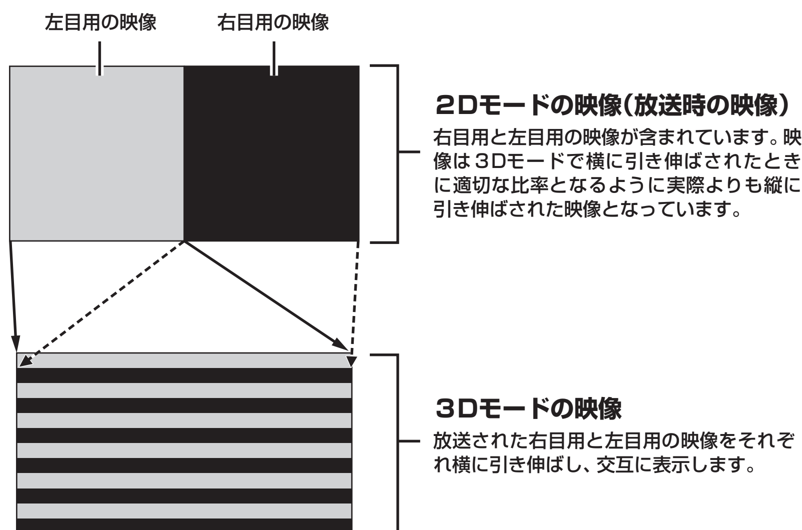
チェック!!
・テレビを見る操作など、テレビに関する説明については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
・VALUESTAR Wで、「ひかりTV」を見るための操作方法などについては『ひかりTVを楽しむ本』をご覧ください。

●3D放送(3D立体放送)のしくみ

3D放送(3D立体放送)では、3Dで表示するための右目用の映像と左目用の映像を含んで放送しています。これを1つの画面に合成して表示し、3Dメガネの働きで3Dの映像として視聴することができます。

●サイドバイサイド方式の放送について

BS11などの、すでに開始されている3D放送では、右目用の映像と左目用の映像を左右に並べて放送するサイドバイサイド方式で放送されています。本製品では、サイドバイサイド方式で3D放送された番組とその録画番組の3D表示に対応しています。3Dの映像をご覧になるには、放送を2Dモード(2D表示)から3Dモード(3D表示)に切り換えて視聴します。VALUESTAR Wでは、「ひかりTV」の3D放送も視聴することができます。



●3Dモードに切り換える

「SmartVision」で3D放送の番組を視聴するときは、次の手順で3Dモードに切り換えてください。3D放送の録画番組を視聴するときも同様です。

1 **3D放送の番組を表示する**

テレビを見る操作または録画番組を再生する操作をおこなってください。

2 **次のいずれかの操作をおこなう**

リモコンの場合：
【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「表示切換(2D→3D)」を選んで【決定】を押す。
マウスの場合：
右クリックし、表示されたメニューで「表示切換(2D→3D)」(マウス用画面の場合「3D表示」)をクリックする。

3Dモードに切り換わります。

3 **添付の3Dメガネをかける**

2Dモードに戻すときは、手順2と同様の操作で「表示切換(3D→2D)」を選んでください。
なお、次の場合は自動的に2Dモードに切り換わります。

・ チャンネルを切り換えた
・ 録画番組の再生を停止した
・ 「SmartVision」を終了した(次に起動したとき2Dモードに戻っています)
・ VALUESTAR Wで、「ひかりTV」ビデオサービスの番組再生を停止した

チェック!!
・ 2Dモードに切り換えたときは、必ず3Dメガネを外してください。
・ 次の場合は、【サブメニュー】を押したり、右クリックしても、サブメニューに「表示切換」の項目が表示されません。
  ・「録画番組一覧」や「番組表」など、番組の映像以外の画面が表示されているとき
  ・映像を含まない独立データ放送などの番組が表示されているとき
  ・VALUESTAR Wで、「ひかりTVホーム」の画面が表示されているとき

●3Dモードで視聴するときのご注意

・従来の番組(3D放送ではない番組)が表示されているときに3Dモードに切り換えると、映像が大きく乱れます。必ず2Dモードに切り換えて3Dメガネを外して視聴してください。
3Dメガネをかけたまま従来の番組を3Dモードで視聴し続けると、気分が悪くなることがあります。3D放送終了後に自動的に従来の放送に切り換わったときは特にご注意ください。
・字幕は正常に表示されません。
・データ放送では、映像の一部が乱れることがあります。

「DigiCame3D Viewer LE」で3Dコンテンツを楽しむ

本製品では、「DigiCame3D Viewer LE」を使用して、3Dの静止画像を観賞したり、管理したりすることができます。また、2Dの静止画像を3Dにしてスライドショーで観賞することなどもできます。

●「DigiCame3D Viewer LE」を使い始める

1 **「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「DigiCame3D Viewer LE」の「ソフトを起動」をクリックする**

「DigiCame3D Viewer LE」が起動します。

チェック!! 操作方法など詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」のソフトの説明や、ヘルプをご覧ください。

「DigitalVideo3D Player LE」で3Dコンテンツを楽しむ

本製品では、「DigitalVideo3D Player LE」を使用して、3Dの映像を3Dで観賞できます。富士フイルム株式会社のFinePix REAL 3D W1で撮影した3D映像に対応しています。また、映像の再生停止中に、映像の1カットを3D画像として保存することなどもできます。

●「DigitalVideo3D Player LE」を使い始める

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「DigitalVideo3D Player LE」の「ソフトを起動」をクリックする

「DigitalVideo3D Player LE」が起動します。

チェック!! 操作方法など詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」のソフトの説明や、ヘルプをご覧ください。

こんなときは

●映像がぼやけて表示される

・「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、3Dメガネを正しい方法でかけていることを確認してください。

3Dメガネをかけずに3D映像を見た場合、映像がぼやけて表示されているように見えますが、これは3D映像の特性であり、本製品の故障ではありません。
「PowerDVD 3D」で映像の再生を3Dから2Dに切り換える場合は、「「PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する」(p.8)をご覧になり、設定を変更してください。

●画面の、3D映像が表示されていない部分に水平方向の線が表示される

映画視聴時の画面上下の黒幕部分など、3D映像が表示されていない部分に、画面と水平方向の線が表示される場合がありますが、本製品の故障ではありません。

●3D映像が表示されない、視聴できない

・「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、3Dメガネを正しい方法でかけていることを確認してください。
・「PowerDVD 3D」をご使用の場合は、「「PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する」(p.8)をご覧になり、ソフトの設定が適切におこなわれていることを確認してください。

上記の内容を確認しても改善されない場合は、「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、画面からの距離や姿勢などを少しずつずらして正常に見える位置を探してみてください。

MEMO

MEMO

3D対応モデルを
ご購入いただいたお客様へ

初版　2010年9月
NEC
853-811064-045-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー）